

平成15年5月20日

各位

会社名 黒崎播磨株式会社
代表者 取締役社長 平岡照祥
コード番号 5352
上場取引所 東証1, 大証1, 福証
問合せ先 常務取締役小川修三
TEL(093)622-7224

「中期経営計画」策定に関するお知らせ

当社では、このたび2003年度～2005年度を対象期間とする「中期経営計画」を策定しましたので、お知らせします。

1. ミッションステートメントの作成

当社は、2000年4月の旧黒崎窯業(株)と旧ハリマセラミック(株)の合併を経て、昨年は九州耐火煉瓦(株)の50%超の株式を取得しグループの一員に加えるなど、当社グループの再編・拡充を推進してまいりましたが、このたびグループ全体を対象に長期的な経営指針となる新たなミッションステートメントを作成しました。

この中で、当社グループの<使命>を「黒崎播磨グループは、たゆまぬ革新を通じ、セラミックス分野の価値ある商品、技術を世界に提供し、産業の発展を支え、社会の繁栄に貢献します。」とし、グループの目指す事業ドメインを明確に決めました。

また、当社グループの<事業目標>を「世界一の顧客価値の実現」とし、お客様本位の事業姿勢を明らかにしております。

2. 中期経営計画の策定

「中期経営計画」は、新たな当社のミッションステートメントにある<使命>を果たし、<事業目標>を達成することを念頭において策定しました。その概要は以下の通りです。

1. 重点テーマ

「顧客価値の徹底追求」～信頼される技術の提供、営業の実践～

- ・新技術創出に向けた総合的施策を強化します。
- ・お客様に対し、ソリューション提供型の営業を推進します。

「最強の生産・供給体制確立」(耐火物事業部門)

- ・国内の生産体制を再整備し競争力を強化すると同時に、海外子会社の新工場を円滑に立ち上げます。
- ・九州耐火煉瓦(株)とのアライアンス効果を最大限に追求するとともに、それ以外の国内外OEM先への技術的サポートも強化します。

「健全な事業体質の構築」

- ・引き続き原料や製品在庫等の棚卸資産の圧縮に努め、売掛債権の流動化を推進し総資産の圧縮に努めます。
- ・グループ収益最大化の観点から、個別事業の将来性・採算性を厳しく見極めると同時に、事業の選択と集中を図って関係会社の統合・再編を推進します。

2. 事業分野別課題

[耐火物事業]

当社の主力である耐火物事業のうち、国内市場では事業基盤を更に盤石なものにするため、顧客価値創造のための営業姿勢を強化すると共に、国内工場は戦略品種

への重点的な設備投資により品質の安定化・生産性の向上に努めます。

海外市場では新たな顧客価値の把握に努め、新規拡販に全力を注ぎます。このため、既存の海外拠点に加え、昨年設立した海外販売会社を活用し、北米市場や中国市場などに重点をおいて市場開拓を行います。また、中国の生産子会社では、既に投資を決定した新工場を早期に立ち上げ、生産を軌道に乗せるべく最大限の努力を行います。

これらにより海外グループ会社の収益力を更に高めて、海外事業の販売拡大と大幅な収益改善を実現させます。

築炉事業については、環境(焼却炉)事業を統合して基盤の強化と効率的な組織運営を目指すとともに、材料販売と施工の一体的な運営を強化して、ソリューション提供型の営業を推進します。

[非耐火物事業]

ファインセラミックス事業は、主要得意先である半導体関連産業の好不況の影響を受けやすいため、安定した売上の確保と高コスト体質の改善に取り組みます。更には、連結子会社である㈱マイクロン、HARIMIC(MALAYSIA)SDN.BHD.や九州耐火煉瓦㈱の電子部品用機能材を含めたグループ企業全体での総合力を発揮した事業展開を指向します。

景観材事業は、需要構造の変化に合わせ、現在主力の舗装用れんがと建築用内外装タイルに加えて、第3の柱としてれんが積み住宅の販売(施工込み)を推進します。

エンジニアリング事業は、耐火物施工機器は当面横ばいが続くと予想されるためY Tコンポスト(発酵・熱分解装置)を活用した環境関連事業の継続的な受注活動に注力します。

その他事業では、特色ある大型薄陶板製造技術を住宅用外装材として応用した建材事業の販売拡大と、耐火物技術の応用による高断熱耐火板をトンネルの火災保護材として用途開拓したセラミックプロテクター(トンネル用耐火断熱保護材)の市場拡大が期待されます。どちらも市場の動向と需要の拡大を見極めつつ、タイムリーな設備投資や販売体制の構築を行います。

不動産事業は、厳しい経済環境ではありますが、引き続き安定した収益を確保すべく努力します。

3. 収益や財務指標などの目標

株主・投資家の皆様の期待に応えるべく「健全な事業体質の構築」の実現に向けて、収益力を高め、財務体質の強化を図ります。

- 中期目標値 -

連結売上高 : 700億円以上の継続

連結ROS : 3%以上の達成

(売上高経常利益率)

有利子負債(単体) : [2002年度末] 159億円 [2005年度末] 25%削減

総資産(単体) : [2002年度末] 566億円 [2005年度末] 10%削減